



社団法人
長崎青年協会会章

我々は會員の団結と
相互扶助の精神の基に
自己の建設と
會員の親睦を図り
もって地域社会の発展に
寄与する事を目的とする

NAGASAKI YOUNG GENERATION ASSOCIATION

社団法人長崎青年協会

スローガン「グローバルに考えて、ローカルに行動しよう」



NYA press no.213
April 1997

今月の行事

- | | |
|------------|-------------------------|
| 4月3日 総務室会議 | 4月15日 企画室会議 |
| 7日 理事会 | 18日 総務室会議 |
| 9日 会員室会議 | 21日 定時総会 |
| 14日 事業室会議 | 5月3日 家族懇親会
(ガタリンピック) |

4

発行 長崎市魚の町7-7
(社)長崎青年協会
会長 川原哲也
編集 広報委員長 松尾浩

平成9年度 会長挨拶

平成9年度スローガン

『グローバルに考えて、ローカルに行動しよう』



会長 川原 哲也

青年協会の皆様におきましては、ますます御活躍の事と存じます。当協会もはや29年目を迎え、ようやく官公庁や他団体からも、認知される団体になりました。時代は激動の時を迎え、変化する地域社会や地域情勢に、柔軟に対応していかなければなりません。そういう意味において、本年は前年にもまして、内部の充実を図り、いかなる困難にも対応できる基礎を作る事を目標におきたいと思えます。つまり昨年の『……らしく』ではございませんが、「自分達が本当に何をしたいのか、そして、また協会とはどういう会なのか」をもう一度、皆さん自身で見つめ直してもらいたいと思えます。その時、自分達の目的が見つかった時、やりたい事が出来る環境を作りたいと思っています。それをふまえて本年度のスローガンは、『グローバルに考えて、ローカルに行動しよう』という言葉で進んで行きたいと思えます。分かりにくい言葉で恐縮ですが、簡単に言うと将来的には大きな目標と夢を持ち、その為にはまず、身近な足元から考え行動出来る様な人間でありたい。そして、協会自体もそうあって欲しいという私自身の願いを込めた言葉です。微力ではありますが、一生懸命努力していきたいと思えますので、皆様方の御指導、御協力をお願い致しまして挨拶の言葉に代えさせていただきます。有り難うございました。

新役員の9年度にける決意



直前会長 田川 俊幸

平成9年度、長崎青年協会第29年度がスタートしました。「これまでの事業」を継続していきながら30周年へ、又、21世紀へ向けて「これからの事業」を考える年だと思えます。今年度、直前会長として今までの経験を生かし、先輩達から受け継いだ協会精神を次の世代会員に継承し、又、若い世代の意見も尊重した事業作りのお手伝いが出来ればと考えております。私もまだ4年間、協会の在籍年数が残っています。自分らしく精一杯協会活動に取り組み、皆様からもまだまだ沢山の事を学ばせて頂き、無事に卒業出来るまで頑張っていきたいと思えます。御協力を宜しくお願い致します。



副会長 城谷 富好

今まで青年協会で培った経験を踏まえながら頑張りたいと思えます。基本的に会員は平等だと思えますので組織という枠組みの中で意見がスムーズに流れ、双方向性のある「ガラス張り」の青年協会になるように努力したいと考えています。自分の持ち味を生かしながら、同じ仲間として皆様と共に自己研鑽に励む所存ですので、どうぞ宜しくお願い致します。



副会長 岡田 康信

川原会長の方針が、「グローバルに考えて、ローカルに行動しよう」という事なので、その方針に従いその実現の為の手助けを行いながら、自分達の足元を見つめ直し、しっかりと活動をしていきたい。又、次年度の設立30周年に向けて、協会内の整備見直しを含め、今後の青年協会の方向性、スタンスを明確にする為に力を注ぎたいと思えますので宜しくお願い致します。



事務局長 和田 正信

事務局としては、川原会長の考えを基に、委員会の主体性を重視し、横の連帯を活発化させたいという思いをサポートしていきたい。

また、今年度の理事会が月1回となる為、理事会のスムーズな運営と局内の管理には充分な対応をしていきたいと思えますので皆様のご協力を宜しくお願い致します。



総務室室長 山口 丈 司

青年協会に入会して11年と9ヶ月がすぎ最後の年になりました。

今年度は総務室長をさせていただくことになりました。総務室長として私に果たしてどこまでできるかが問題であります。在籍は長くても、青年協会の何たるかが本当はわかっていないような気がします。しかし分かっていないながらも、物事にこだわりというものを前面に出して妥協をせず納得行くまで議論し、最後のご奉公のつもりで一生懸命頑張りたいと思います。



会員室室長 西 口 勝 治

「おもしろき 事のなき世をおもしろく」

本年度は、会員室長として勉強・体験させて頂く事になりました。目立ちたがり屋で我も強く計画性なしと会員の皆様に御迷惑をおかけしますが、29周年のドラマ作り的交流委員会ならびに研修開発委員会共々頑張っています。会員相互の真の交流と、21世紀を担う新人の開発に向け影として努力してまいります。どうぞ宜しく。



事業室室長 原 喜一郎

今年度は、入会して6年目を迎えます。私事ですが、天空を舞う白馬の様に優雅に立ち振る舞い、客観的に物事を判断し、人の痛みのわかる事業室長を目指します。それに川原会長の基で長崎県人の1人として“グローバルに考えて、ローカルに行動しよう”をモットーに微力ではありますが、精一杯頑張ります。

何事にも私達青年協会は全会員パワーを持って行動すれば不可能という文字はありません。肯定的に行動します。どうぞご理解とご協力の程宜しくお願いします。



企画室室長 岩 満 克 弥

本年度企画室室長として、渉外委員会、社会福祉委員会、企画推進委員会を担当させていただきます。渉外委員会は、ネットワーク市民の会への参加、社会福祉委員会は、青少年育成事業、福祉事業、企画推進委員会は、次年度30周年へ向けての企画案作成を主な柱として一年間事業展開を行なっていきます。本年度は、会長の意向でもありますが、「室で動く」をテーマに企画室として、3委員会と協力し合い事業を進めていく様に調整を図りながらも、各委員会へ方向性を助言し、少しでも委員会の力になる事が、私のひとつの大きな役割だと思えます。1年間皆様宜しくお願い致します。



監事 丸 尾 隆

久しぶりの休日のある日、娘と家内の会話を耳にし今年10歳になる娘の成長を感じました。また1年1年大切な糧を得て立派に成人するための親としての責任の重さを具体的に考えなければと痛感する毎日をおくっています。私も協会に入会して9年目を迎えるようとしています。40歳を目前にしてわが身を振り返りこの9年間の反省と共に、今年の監事という私にはとても大役をどう進めていくか、本来監事とは協会活動を健全に出来る様に冷静に判断し発言をしていく仕事と認識しています。今の私に最も重要なことは青年協会の憲章に基づき、社会に貢献する為のボランティア団体である事を念頭に取組み参りたいと思えます。



監事 荒 内 賢 治

本年度、監事という名誉職を受けさせて頂く事になりました。私は、入会して8年目、卒業まであとわずか2年というこの年に監事の職に就くという事は、自分にとって、いい経験をさせてもらえると思えます。これまでは、副委員長、委員長として、一事業に対してのみの経験しかなく、監事という全体を見ながら、それも少し離れた立場から見られるわけですから、この一年また勉強のつもりで頑張りたいと思えます。会員の皆様、一年間宜しくお願い致します。



監事 西 崎 達 也

昨年度は、地域事業委員長として「厄入り事業、おくんち事業」等の中において、実行委員長として試行錯誤しながらも一生懸命行ってきました。しかしながら、今年度は、一事業及び一委員会ではなく協会全体の補佐役という難しい立場の役割を仰せつかり、少々、本人戸惑う所もありますが、昨年度同様、試行錯誤の中協会の一員として、一生懸命やって行きたいと思えます。今年度一年間どうぞ宜しくお願い致します。

卒業を送る夕べ

平成9年3月21日

於 ホテルニュー長崎



3月21日(金) ホテルニュー長崎に於いて、「卒業を送る夕べ」が行われました。まず、5名の卒業生ならびに奥様の紹介がステージでなされたあと、田川俊幸会長が、会長として最後の挨拶並びに卒業生との思い出話をまじえながら行いました。続いて、役員報告、委員会報告、同好会報告などの後、毎年恒例の皆勤賞が発表され、今年度は、山崎伸一君、吉野忠幸君、池田佳央君、野島徹也君の計4名の方々が表彰されました。その後、ハゲます会のメンバーにおける「誕生者お祝いの儀」によって3月の誕生者を祝いました。そして、卒業生への祝電を披露した後、三浦勝太OB会会長のカンパいの御発声を頂き、懇親会へと移りました。懇親会の途中、プレザー贈呈式があり田川会長によって卒業生一人一人に袖を通していただきました。余興のコーナーでは、広報委員会によりチアボーイという芸を出していただき、会場内は、大爆笑でした。その後、毎年恒例の中尾OBによる中尾コーナーが行なわれ、ブランデーの入ったパールの回し飲み大会が始まり、卒業生の5名はもちろん、本年度役員を初めその他のメンバーや、今回は卒業生の奥様にも中尾コーナーに参加していただき、美味しいお酒をいただきました。

「卒業を送る夕べ」も終盤にさしかかり、卒業生5名に田川会長より、感謝状が手渡され、その後、卒業生のお子様から、おとうさんへ心暖まるメッセージが、それぞれの卒業生に対して読み上げられると、感激のあまり目頭をおさえる卒業生もいらっしゃいました。その後卒業生からそれぞれの奥様に、今までの感謝の印として、花束が贈られました。そして最後に、青年協会の歌を皆で大合唱して川原次年度会長の万歳三唱でフィナーレを向かえました。

卒業生5名の紹介

田中 潤介	平成4年1月入会
白山 光男	平成3年6月入会
新ヶ江 憲和	昭和63年10月入会
新井 正実	昭和59年11月入会
板倉 和人	平成4年5月入会

OBから贈る言葉

浅田 五郎OB
『いつまでも 青春!』

三浦 勝太OB
『元気が 一番!』

最後に卒業された5名の皆様、長い間、協会活動、本当にお疲れさまでした。また、影から5名の卒業生を支えていただいた奥様方に感謝申し上げます。これからも、青年協会で学び得たものを土台にしてこれからの人生を歩んで下さい。

〔現役会員一同より〕

『卒業生&奥様 突撃インタビュー』

<インタビューの内容>

1. 長崎青年協会に入会して、一番楽しかったと思う事
2. 長崎青年協会に入会して、一番良かったと思う事
3. 長崎青年協会に入会して、一番辛かったと思う事
4. 長崎青年協会に入会して、自分の為になった事
5. 後輩にひと言
6. 長崎青年協会を卒業して、余った時間を何に使いますか?
7. 奥様にとって長崎青年協会とは?



新ヶ江 憲和・紀久江ご夫妻

1. 野球同好会Bクラス進出。
2. 友人が、多く出来た。
3. 仕事が、思う様に出来なくなった。
4. いろんな後輩の話が聞けた。
5. 己に厳、人に寛(人と付き合う上での大原則)
6. 仕事・趣味・家庭
7. いろいろな事業に参加し、たくさんの人と出会う事ができ、勉強になりました。



新井 正実・由紀子ご夫妻

1. ソフトボール大会で優勝した事。
2. 多くの友達が出来た事。
3. 仕事でバテバテの時でも、事業に参加しないとイケない時。
4. 多くの知り合い、友人が出来た事。
5. 一生懸命も大事だけれど、適当にする事も大事です。
6. ギャンブル(パチンコ)かな?
7. 「主人の道楽の中の一つ」



白山 光男・順子ご夫妻

1. 友達と一緒に汗を流す事。
2. 友達が出来た。
3. ない。
4. たくさんあって、一言ではいえない。
5. 精一杯頑張っただね!
6. ゆっくり考えます。
7. 主人の安らぎの場。



田中 潤介・康子ご夫妻

1. 全部が楽しかった。そして、すべてが楽しかった。
2. 同上
3. 辛くなるのは、この「送る夕べ」が終わる頃に来ると思う。(肉体的にはいろいろ辛かった)
4. いろいろな人と出会い、いろいろな人の考えがわかった事。
5. 何も言う事はない。(胸がいっぱいで)
6. 自分の趣味に使う。(乗馬 他)
7. いい所だった。卒業してしまえば。



板倉 和人・尚子ご夫妻

1. 毎年の全体研修
2. 年下の若い仲間が出来た。
3. 時間の割り振り「仕事・家庭・プライベート」
4. 多くの仲間が出来た。
5. とにかく、卒業まで頑張れ!
6. 孤独な自分の喜びの為や家族の為に使う。
7. 主人が少しまるくなったので、青年協会に感謝している。

卒業にあたって

白山 光男

沢山の思い出と、変わらぬであろう友情に支えられて、「こだわり」の5年9ヶ月をまっとう出来たことを感謝します。後を託した、ペーロン・マラソン・パソコンは、皆さんで可愛がって下さい。

新ヶ江 憲和

在籍した9年間、貴重な経験をさせて頂きました。そして、その中で生涯の友になる人たちに会うことができました。青年協会の先輩たち後輩たち、またサポートしてくれた銀鍋の従業員や家族に感謝したいと思います。

田中 潤介

あつという間の5年数ヶ月。汗と涙を流し、無い知恵を絞り、いい夢を見、旨い酒を呑んだ。そして…得難い友が出来た。心残りはあるが悔いはない。好きなこの句で別れを告げよう。

白珠は人に知ら得ず 知ら得ずともよし 我知れば 知ら得ずともよし

(本人の特別の希望によりコメントをいただきました。)

留学生と市民の集い Again NAGASAKI を終えて

企画委員長 馬見塚 純 治



去る3月9日、シティホール元船平安閣に於きまして、平成8年度最後の「留学生と市民の集い」・Again Nagasaki を無事終了する事ができました。今年度は、シリーズもので1年間を通した事業を実施してきましたので、これで終わりだと思うと満足感と寂しさが込み上げてきました。留学生や一般参加の市民の皆さんからは楽しかった思い出話等を聞けてホットすることができました。

お誕生おめでとう！

藩 賢剛君 (第1子・女兒)
名 前／華蓮 (かれん) ちゃん
誕 生／平成9年2月8日
体 重／3,280g
父より／しっかり育てたい！

ご結婚おめでとう

中山 一郎 君
3月30日伊勢宮ロイヤルベルズにおいてめでたく挙式をあげられました。
奥様千賀子さん：なれそめは職場でみそめられた。

同 好 会 た よ り

■野球同好会

去る3月23日早朝、神の鳥球場に於いて市民早朝野球の開会式がありました。我ら青年協会野球同好会のナインも多く参加し、堂々の入場行進をおこないました。昨年は、Bクラスで1回戦敗退しましたが、今年は気分一新！ 上位進出を目指し、頑張ります。どうぞ皆様の熱い応援よろしくお願い致します。



■ゴルフ同好会

3月16日、田川会長杯の取り切戦を長崎空港カントリークラブでおこないました。総勢21名の参加を得、広瀬君がイン49、アウト49、グロス98、ネット71.6で優勝 (ダブルペリヤ方式) いたしました。尚、2位杉本OB、3位船越OBでした。



■麻雀同好会

3月29日、万才町くらぶ長崎において「青年協会杯最強位決定大麻雀大会」がとりおこなわれました。激戦、混戦の中、16名の猛者の中で城谷君が栄冠を獲得しました。尚、2位阿比留君、3位新々江君、敢闘賞は田中君でした。



編 集 後 記

本年度の広報委員会としては、年間を通し委員自らの五感で取材していく事を活動方針の第1としてスタートしました。今回4月号の発行にあたり、委員各自がいろいろと試行錯誤のなか、今号を作成致しました。まだいろいろと、とまどいもありますが、皆様に楽しく読みやすい広報誌を目指し一丸となり頑張りますのでどうぞ暖かいご支援をたまわりたくよろしくお願い致します。(松尾)